

第 53 回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開 催 日：2025(令和 7)年 12 月 7 日(日)

開 催 場 所：ソニックシティ

テ ー マ：ホップ ステップ ジャンプ

サブテーマ：～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～



～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～



(写真 実行委員会の様子)

【抄録作成のポイント】

第 53 回埼玉県医学検査学会で学術部を務めさせていただきます、春日部市立医療センターの永井克紀と申します。演題、抄録の受付が、5 月 1 日より開始されました。そこで、発表に必要な抄録作成のポイントについてご案内したいと思います。

抄録は研究内容を簡潔にまとめたものであり、発表の概要を伝える重要な役割を果たします。効果的な抄録を作成するためには、以下のポイントを参考にしてください。まずは、演題を考えましょう。内容が伝わりやすく、明瞭かつ簡潔にすることを心掛けてください。執筆に困った場合は、過去の様々な抄録を参考にし、その書き方や表現方法など参考にしてみてください。文章は基本的に次の 4 つに分けて構成されています。

(背景・目的) 背景を考慮し、明確にしたい点を簡潔にまとめましょう。

(対象・方法) 対象の基準、検討データ、データの抽出方法、評価方法については客観的に記載します。

(結 果) 対象および方法に基づき、得られた事実や数値を明確に記述します。

(考察・結語) 結果から導き出した考え、今後の展望、課題を記載し、結語において明らかとなった知見を簡潔にまとめましょう。

抄録が作成されたら、先輩や上司にチェックしていただき、誤字脱字や適切な表現についてフィードバックをお願いしましょう。「内容については当日

スライドで示します」のように、発表の主旨が分からない抄録は、良いものとは言えません。学術実績として残るのは、当日のスライドではなく抄録だからです。ぜひ、素晴らしい知見を後世に残してください！

抄録は日本臨床衛生検査技師会総合情報システム（JAMTIS）を用いて、テキスト入力方式または、ファイルアップロード方式のいずれかで作成可能です。詳細については、学会ホームページ“演題募集”をご覧ください。多数の演題の申し込みをお待ちしております。

（文責：第 53 回埼玉県医学検査学会 学術部 永井克紀）

【初めての学会発表】

第 53 回埼玉県医学検査学会にて学術を担当しております埼玉県立大学の岸井こずゑと申します。

私の初めての学会発表は、日常検査で遭遇した「ちょっと変わった薬剤耐性菌：Hetero vancomycin resistant *Staphylococcus aureus* (hetero-VRSA)」についての報告でした。先輩技師のアドバイスを受けながら薬剤耐性機序について勉強し、先行研究や患者さんの抗菌薬投与歴を調べ、抗菌薬投与が耐性化に及ぼす影響を実験にて検証するなど、一步踏み込むごとにどんどん興味が湧いてきたことを覚えています。発表本番では、質問に答えられるかどうかドキドキしながら壇上に立ち、早口ではありましたが最後のスライドまで無事に発表を終え、質問にも何とか答えることができました。発表後には大きな達成感を得ることができ、次へ向けてモチベーションも上がりました。

学会発表ではプレゼンテーションスキルを学ぶだけでなく、自信にもつながりコミュニケーション能力が高くなる実感を得ることができます。また、他の人の発表も理解できるようになり、ネットワークを広げるチャンスも得られます。

初めての学会発表のために、まずはアドバイスを与えてくれる方を探しましょう。それは職場の先輩技師かもしれませんし、研修会で知り合った先輩技師かもしれませんが、手を挙げれば助けてくれる方は必ずいます。次に、学会に参加して多くの方の研究発表に触れましょう。研究の進め方、まとめ方、発表の仕方などが徐々に分かってきます。あとは研究を遂行して挑戦するのみです！

第 53 回埼玉県医学検査学会が多くの方の挑戦の場になることを願っています。

（文責：第 53 回埼玉県医学検査学会 学術部 岸井 こずゑ）